

# 全国トップレベルの活動量

やばせ一郎のここを見てください!



1

40代で市内に特別なしがらみをもたないこと。



2

民間企業の社員として勤務し、その勤務で培った民間感覚を備えていること。

海外の日本大使館で外交官「公僕」として日本人のために危険を顧みず命がけて勤務した経験があること。



3

市内の団地で育った後、国外・県外でも生活経験があり

4

「日本で生まれた幸せ」と「狭山で育った幸せ」を知っていること。



5

自分たちを育ててくれたシニアの方々や、次世代のさやまっ子と一緒に、

子ども食堂や寺子屋、サロン事業などに積極的に取り組んできたこと。



介護の資格を活かし、障がいのある方の支援活動などに参加していること。

6



国内外を飛び回り、海外の閣僚などと幅広い人脈を築き、

狭山をPRしてきたこと。

7



8

日本で最も骨髄提供手術をボランティアでするなど、困っている人を助けようとする気持ちを強く持っていること。

全国の災害現場でのボランティア経験などを通じ、

狭山の危機管理体制の強化に取り組んできたこと。

9



県政に新しい風を吹き込み、狭山に県との新しいパイプを作っていること。

10

